



# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2024-25 クラブテーマ 親睦から始めよう



2024. 10. 28

職場例会：(株)田中衡機工業所

No.2503 No. 13

## 会長挨拶

三条南ロータリークラブ  
会長

永桶 俊一



本日は職場例会で、田中衡機工業所様で開催することができました。

田中社長には今年の2月にお願いして、快諾していただきました。

三条南ロータリークラブのチャーターメンバーであり初代幹事・4代会長の田中正佐久さんから20年入会のお父様の田中悌司さんと田中衡機工業所と三条南ロータリークラブは深いかかわりを持っています。

2012年の11月に田中悌司さんのご厚意で職場例会を行っており、12年ぶりの開催になります。田中社長は2017年11月に三条南ロータリークラブに入会いただきましたが、月の半分以上ベトナムや海外に飛んでおりまして、多忙で退会してしまいました。

田中社長は相変わらず業界のために海外に飛んでおりますが、少しは時間が取れるようになってきているようですし、地元のためということも時々話されるのでそろそろ三条南ロータリークラブに戻ってきてくれないかなと願っています。

本日は田中社長・茶木専務に置かれましてお忙しい所、会社・工場見学させていただき、ありがとうございます。そして本日の段取りにおいて御骨折りいただきました柳川さんありがとうございました。

職業奉仕委員長の松崎さんをはじめ、駐車場・会場への誘導していただきました親睦委員会メンバーに感謝申し上げます。

重さを測る基準として各国にキログラム原器があり、パリの国際キログラム原器と定期的に比較しているという話を12年前に聞きました。2018年にプランク定数に基づいて質量の基準を持つことができるなり、キログラム原器が廃止されたという記事があり、重さを測る業界も変化していると感じています。

天秤はかり・体重計からトラックスケール等さまざまなものの重さを測る田中衡機様の発展・躍進の一端を見せていただいて、勉強したいと思えます。本日はよろしくお願い致します。

- ◆本日の例会場：(株)田中衡機工業所 Tasoo ホール  
(三条市福島新田乙) 現地集合解散
- ◆本日の出席：39名中24名
- ◆本日のお客様：(株)田中衡機工業所  
代表取締役社長・田中康之様、専務取締役・茶木晃様

## ニコニコボックス

- 10/28 20,000円 本年度累計 247,000円
- 永桶会長「田中衡機工業所様、本日の職場例会を請けていただきありがとうございます」
- 田中幹事「田中衡機工業所田中社長様、本日はどうぞよろしくお願いいたします」
- 野崎さん、松崎さん、桑原さん、木村さん「今日は職場例会です、田中衡機工業所さんよろしくお願いいたします」
- 長谷川さん、熊倉さん「田中社長、本日は、お世話になります」
- 加藤さん、関さん「見学の機会をいただき有難う御座いました。会社見学を楽しみにしています」
- 廣岡さん「今日は豊樹の祥月命日です。あっという間の一年でした。皆さまありがとうございました」
- 坂井さん、平松さん、田代さん、銅冶さん、吉沢さん、石山さん、中村さん、永井さん  
「BOXに協力します」
- 藤田さん「先週、ガラスに頭をぶつけてしまいました。ケガには気をつけましょう。BOXにご協力ありがとうございました」



国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック (米国)  
 第2560地区ガバナー 南雲 博文 (長岡)  
 第4分区分ガバナー補佐 杉山 幸英 (三条)  
 会長 永桶 俊一  
 幹事 田中 康之  
 SAA 塩入 栄助

事務局  
 〒955-8666 三条市町2-5-10  
 三条信用金庫本店内  
 TEL 0256-35-3477  
 FAX 0256-32-7095  
 E-mail info@sanjo-minami.jp  
 URL https://www.sanjo-minami.jp

# 職場例会 卓話

(株)田中衡機工業所  
代表取締役社長 田中康之様



## 会社概要

社名：株式会社田中衡機工業所

創業：1903年

製品：産業用はかりの製造・販売

- ・従来のはかり（機械式）
- ・車両用計量器
- ・動物計量
- ・その他、各種産業用はかり

サービス：点検・検査・校正・定期検査、など

製造拠点：三条市、愛知県半田市、ベトナム（南部）

## 従来のはかり（機械式）



## 車両用計量器



## 動物計量



## 空港カウンター用



## 鋳造硬度計



会社概要：色々な産業に向けた計量器を製造しています



## 2. 田中衡機の理念

秤屋魂で、  
産業の基盤を守り続け  
人と人との信頼を紡ぎ  
今よりも幸せな世界を育む



## 秤屋魂の例

- ・1939年（昭和14年）：第二次世界大戦勃発
- ・1941年（昭和16年）：金属類回収令

⇒ 田中佐造【写真】、鉄で秤を作り投獄される  
鉄の供出令で、木で計量器を製造するメーカーも増える中、田中佐造は鉄の使用制限に背き、鉄で秤を製造し続け、投獄される。牢屋から、「はかりは精度が命である。基準である秤の精度が悪くては、その秤で製造する製品の品質が落ちる。」といった内容を、政府に具申し続け、結果的に、計量器は鉄で製造する事が認められる。

田中は、理念を軸にした経営が大切だと考える

